

伏見新平町長の 恥しそうな挨拶振り

前町長の遺志を継ぐ 喜び言外に溢る

伏見新町長を役場に訪へば、顎鬚をそりたてたばかりの頬に笑を浮かべて椅子を進める無遠慮にお目出度ふを浴びせられて處女の様なはづかしさを見せ「未だ認めが、来ないんですから町長待遇は少し早過ぎませんか」と云ふ「どうですまん更ら嬉しくない事もないんでせう」に對しては「どうぞ御自由御推察を願ひます」と平たく出て「抱負ですか？、未だ何んにも考へて居ませんが總へは伊坂前町長の遺志を継ぐこと、喜びを胸に包んだニコニコ振り、助役と云ふ女房役の選定に就いては「嫁を貰ふにしてもあちらでよいのはこちらで悪し、こちらから貰ひたいのには財鐵を食はされるも云つた調子ですからネ」と多くは語らないが

就任を喜ぶ

伊坂氏の談

余の後任として伏見君が圓満裡に就任を見る事が出来たのは喜びに耐へない、現在迄の伏見君は余の女房役として非常な手腕を見せて呉れた、必らず此人を町の主腦者とする事に依つて平

片や農村片や町家

糞尿無料汲みの問題で 飛び出た經濟學の原則

少々香ばしからの話ではあるが平地方一部農村と町家の内、貸家持主との間に問題となつて居る糞尿無料汲みとり問題に就て假りに從來



風邪がすうり
+ 家庭 +
+ 欄 +

「無料汲み取りも結構だが、それは野菜をただ供給するが、少くも大々の割引する位は當然であらうにそんなこともせずに手前

感謝文を贈る

伊坂前町長に 起草委員五名

伊坂前町長に對する慰勞金が一萬圓と決定した事は昨報の如くであるが右金額は大正十四年度の一般會計から支出し又同氏に對する感謝文の起草委員は左記五名である
坂本隆藏、井上茂作、吉田禮次郎、永山和平、酒井國三郎

坑夫獎勵金

小野田が増額

石城郡野田村小野田炭礦にて坑夫の入坑を獎勵する爲め本下半年から獎勵金

三坂の火事

五棟焼けた

石城郡三坂村大字差鹽は江添農志賀良助方風呂場から十四日午後七時頃飛火し既に燃え付き他家其他四棟を焼失し同村消防組駆付け午後八時鎮火したが損害約四千六百圓であると

品川火事訴訟 證人を喚問

本日平支部に

品川白煉瓦株式會社にては平工場が本年九月廿日火災に罹つたに就いて失火の原因は機關車の飛火に依るものと爲し昨年鐵道省を相手取り損害額十二萬餘圓の請求訴訟を提起したるは當時應報の如くであるが原告側の申請により本日午前十時當時の目撃者であつた仲間町佐藤幸太郎、吉田光三の兩氏が證人として福島地方裁判所平支部に喚問された

伏見氏略歴

伏見新任平町長は明治四年相馬郡真野村に生れ同廿二年相馬郡書記を振り出しに廿八年信夫郡書記、卅九年

体刑を科せ

漁境を荒す

昨今宮城縣荒濱揺上地方の漁民が漸次小名濱邊まで盜漁に來り甚たしきは沿岸に全く禁じられてゐる底曳網を使用するものありこれが制裁については本縣から再三宮城縣に抗議を申し込みつつあるにもかゝはらず未だ何等具體的取締法が協定されず本縣當局でも漁區民保護の上から全く困惑し切つてゐるが帝國水産會でも取締法案につき豫で研究中でいつそのことにこれを體刑なり或ひは漁船差押さへ

少年の 飲酒と煙草

平署私服警戒

未成年者の飲酒喫煙違犯者に對しては夫々處罰の規定あるに拘らず、近來平町附近青少年中には此の種違犯者が續出し特に夜間活動常設館等に至り派手な烏打帽を眼深かに十七八歳の少年が悠々喫煙をなしてゐる有様でこれらの大部分は七八人を一團となし常に低劣な野次を飛ばしゐるがそれら團體中には鐵道従業員等もあるとの噂で平署にては刑

電話が通す

廿一日から

平局から隣縣平瀧局及び大津局との通話は電話線の關係で長距離電話に依らねばならなかつたが既記の如く連絡工事が完了し來る廿一日から普通電話が通する事となつた

友仙モス 投票

丸龜の試み

平町三丁目中野吳服店の試みた友仙モス投票は七十五號が二千七百六十七點にて一等に當選次點は六十七號の八百四十二點、六十二號の五百廿三點と云ふ結果で投票者の一等は平陽實科女學校生徒の渡邊スィ子、選外は左記五名であると

平町人事

▲出生

△四丁目五 山田正義氏三男正三
△古御治町一四 松崎利氏三女文江
△長橋町二五 根本廣次郎氏四男巳利五男太平
▲婚姻
△南町七一 大工職八本政吉(二四) 同町鈴木ミネ(二三)
▲死亡
△長橋町二九 木田良子(二二)

野の泉二月號

雜誌「野の泉」二月號は新裝